

ハブラシ・リサイクルプログラム

使用済みハブラシを回収して環境問題解決に挑むプログラムに参加し、活動を発展させて展開。

ライオン株式会社とテラサイクル・ジャパンの協働企画に、各支援団体への寄付も兼ねて参加。2019年の「国際女性デー」(3月8日)には、このプログラムから生まれた「再生プラスチック植木鉢」に国際女性デーのシンボルとなっているミモザの苗木を植え、およそ1年かけて育苗。このミモザの木は、2020年の「世界環境デー」(6月5日)に校門脇に新設した「SDGs花壇」に植樹し、「光ヶ丘×SDGs」のシンボルツリーとして生徒たちの登下校を見守っています。



トイレトペーパーにFSC®認証紙を使用

校内で使用するすべてのトイレトペーパーを、
環境や人権、社会に配慮したものに。

生徒会の学習会から生まれた取り組みで、王子ネピアの担当者によるレクチャーと商品説明を経て「FSC®認証紙」への変更を学校に提案。2018年の「世界トイレ・デー」(11月19日)に導入を表明し全校のトイレトペーパーをFSC®認証紙に切り替えました。

FSC®は、Forest Stewardship Council® [森林管理協議会 / 本部・ボン(ドイツ)]という国際機関。環境だけでなく森林労働者や森に暮らす先住民族の人権にも配慮した製品に認証を与えています。日常を過ごす学校生活がそのままSDGs達成への貢献につながる画期的な取り組みに。



SDGs自動販売機 [寄付型自動販売機]

SDGsのロゴとアイコンでラッピングされた寄付型自動販売機を設置。

災害時のベンダー機能も備えたこの自動販売機の売り上げの一部は、とりわけ途上国の女の子の未来を変える活動を展開している国際NGO「プラン・インターナショナル・ジャパン」に寄付されます。このデザインの寄付型自動販売機は、全国の小中高校・大学などすべての学校のうちで初の導入となりました。



Cancer Blows (吹奏楽部)

世界的トランペット奏者ライアン・アンソニー氏の遺志を引き継ぎ、音楽で希望を届ける演奏会を開催。

多発性骨髄腫のために亡くなった世界的トランペット奏者ライアン・アンソニー氏の功績に深甚なる敬意を表すため、多発性骨髄腫を世間に知ってもらうこと、病気の研究治療を進める費用を集めること、病気の家族へ未来への希望を与えることを目的として吹奏楽部が「Cancer Blows」を開催。

演奏した楽曲は、Peter Meechan氏のSong of Hope。

そして、吹奏楽部の生徒たちはCancer Blowsの活動を支援するための募金活動を行い、集まった募金を多発性骨髄腫研究財団 (MMRF) などへ寄付しました。



SDGsを点字訳 (点訳部)

SDGsと17のゴールアイコンの解説を点字訳したパネルを制作。

「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を活かすため、視覚に障がいのある方にもSDGsをひろめようと点訳部がSDGsの点字訳に取り組みました。

文化祭では、かねてより交流のあった地域の盲学校の生徒にも展示作品に触れていただき、交流を行いました。



北欧デンマークへの研修旅行 (福祉コース)

「世界一幸せな国」はサステナビリティにも積極的。
世界トップクラスの社会を体感。

福祉大国デンマークはSDGs達成度ランクでも世界1位 (SDSN&ベルテルスマン財団/2019年) に。
UN17 Village (予定地) やCopenhagen International Schoolなどを訪れ、環境と経済を高いレベルで両立するサステナビリティあふれるソーシャルデザインを体験的に学びました。



学校法人 聖カタリナ学園

光ヶ丘女子高等学校

「異文化理解」での Research & Presentation (国際教養科)

英語をツールに、SDGsの観点からResearch & Presentation。

国際教養科の専門科目「異文化理解」では、世界の課題について英語でResearch & Presentation。ネイティブの教員の支援のもと、英文資料を考察し英語でスライドを制作、英語でMovie制作。世界で通用する言葉で最新の状況や知見をキャッチしつつ、世界の未来を変えるための視点と表現を学びました。



「SDGsアイデアブック」の英訳 (英会話部)

SDGs関連書籍の英訳にチャレンジ。

中高生向けのSDGs関連書籍のなかでも人気の書籍『未来を変える目標 SDGsアイデアブック』(Think the Earth編)の英語版翻訳プロジェクトに英会話部の生徒が携わりました。



学校法人 聖カタリナ学園

光ヶ丘女子高等学校